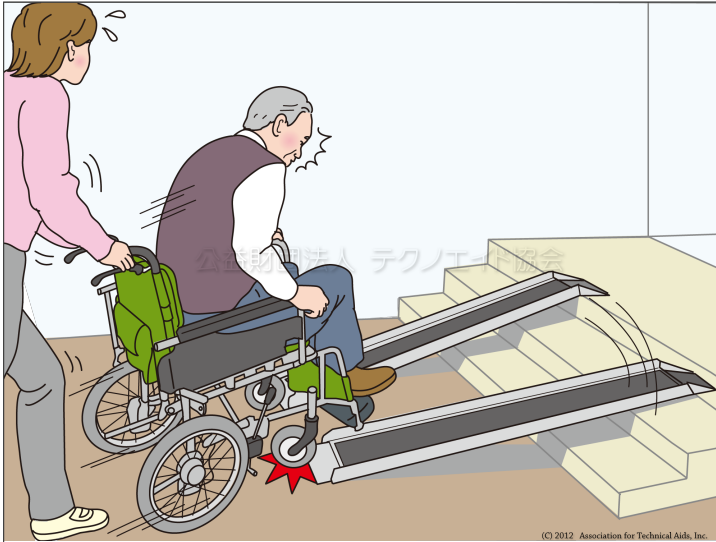


Case : 223

うまくキャストを乗せられず、操作を繰り返すうちにスロープが外れてしまう

場面の説明

左右それぞれのスロープにキャストをうまく乗せることができず、操作を繰り返すうちにキャストでひっかけてスロープが外れてしまった



利用シーン	 移動  階段の昇り降り  外出
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

特にレール形のスロープでありがちな事例です。レール形スロープの設置は、左右のレールが車いすのタイヤ幅と一致していることが安全な使用には重要なポイントです。床と段上に印をつける工夫は、簡単ではありますが効果が大きくお勧めです。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：操作に不慣れだった
- 環境：スロープの設置位置が合っていなかった
- 環境：狭い場所だった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 223

うまくキャストを乗せられず、操作を繰り返すうちにスロープが外れてしまう

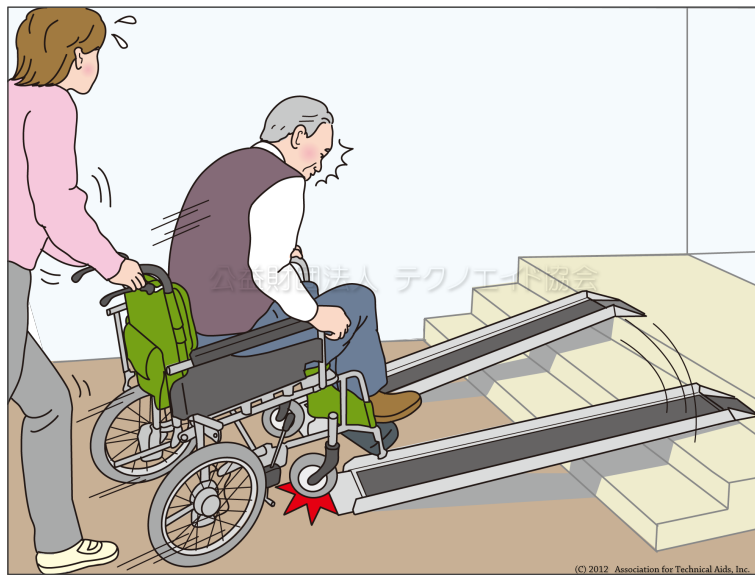
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

左右それぞれのスロープにキャストをうまく乗せることができず、操作を繰り返すうちにキャストでひっかけてスロープが外れてしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ